令和6年度 学校評価（後期）について

早春の候、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、先日実施いたしました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。学校評価は本校の教育活動その他学校運営の状況について自ら評価を行い、その結果を公表するとともに、次年度に生かしていくためのものです。これからも、保護者の皆様と学校との協力のもと、よりよい教育活動を目指してまいります。

<児童の評価より>

前回比 プラス0.2以上○ マイナス0.2以上△

	質問内容	児童			
		R5/7	R6/2	R6/7	R7/2
①	登下校や学校生活の中で、友達・先生・地域の方にあいさつしていますか。	3.4	3.4	3.5	3.4
②	いつも、お友だちにやさしい心で、あたたかい言葉かけをしていますか。	3.3	3.3	3.4	3.3
③	いじめやけんかをせず、友だちとなかよく生活していますか。	3.4	3.5	3.5	3.4
④	学校では自分から進んで勉強しようとしていますか。	3.4	3.3	3.4	3.3
⑤	学校で勉強したことが、よくわかっていますか。	3.5	3.5	3.5	3.4
⑥	お家で毎日、進んで勉強していますか。	3.1	3.1	3.2	3.1
⑦	進んで体力づくりに取り組み、楽しく運動していますか。	3.4	3.5	3.5	3.5
⑧	早寝、早起きをし、朝ごはんを食べ、規則正しい生活をしていますか。	3.3	3.4	3.4	△3.2
⑨	ルールやマナーを守り、安全に気をつけて生活していますか。	3.6	3.5	3.7	3.6
⑩	学校での出来事を家の人にきちんとお話していますか。	3.3	3.4	3.3	3.3
⑪	先生は、健康や安全などの大切なお話をよくしてくれますか。	3.6	3.6	3.7	3.6
⑫	先生は相談したこと、質問したことに、よく答えてくれますか。	3.6	3.7	3.7	3.6
⑬	学校や学級での生活は楽しいですか。	3.5	3.6	3.6	3.6
⑭	学校の中で悩みや不安はない。	3.0	3.4	3.5	3.4
⑮	自分の目標やめあてを達成するために、あきらめずに努力をしていますか。			3.5	3.4
⑯	自分にはよいところがあると思いますか。			3.3	3.2

・「そう思う」4点、「すこしそう思う」3点、「あまりそう思わない」2点、「ほとんど思わない」1点として集計し、平均を出したものが上の表です。

<児童のアンケート結果からの傾向と対策>

今回の調査でも、これまでと同様に全ての項目が3ポイント以上と全体的に児童の評価は高いと考えられます。回答の傾向としては大きな変化が見られません。ポイントが比較的高い項目、低い項目が固定化していることから、低い項目に関しては次年度、今年度の取組とは別の角度からのアプローチも検討していきます。

「⑭早寝、早起きをし、朝ごはんを食べ、規則正しい生活をしていますか。」は今回、児童、保護者、教職員すべてで△が付きましました。共通して課題と捉えている項目です。他の項目に比べて、学校とご家庭の協力が最も不可欠な項目でもありますので、学校としては子供たちに指導するとともにご家庭への情報提供にも力を入れていきます。ぜひ各ご家庭でも、健康的な生活習慣の確立にご協力ください。

今年度から追加した⑮、⑯の項目については、微減したものの大きな変化はありませんでした。次年度も重点的に伸ばしていきたい力に関わる項目ですので、様々な学習活動を通してこれらの力や気持ちが高まるように指導してまいります。

	質問内容	保護者		教員	
		R6/7	R6/7	R6/7	R6/7
①	登下校や学校生活の中で、友達・先生・地域の方に挨拶ができていると思われませんか。	3.2	3.1	3.0	△2.8
②	やさしい心で、あたたかい言葉かけをしていると思われませんか。	3.3	3.2	3.6	△3.4
③	思いやりの心もち、良い友だち関係をつくっていると思われませんか。	3.5	3.4	3.5	3.4
④	進んで学習しようとする姿勢や意欲がみられると思われませんか。	3.0	3.0	3.4	3.3
⑤	学校での学習の内容をよく理解していると思われませんか。	3.1	3.1	3.5	3.5
⑥	家庭で毎日、進んで勉強していますか。	2.7	2.7	2.8	○3.0
⑦	進んで体力づくりに取り組み、楽しく運動する姿勢がみられましたか。	3.2	3.1	3.0	○3.2
⑧	早寝、早起き、朝ごはん等、規則正しい生活ができていると思われませんか。	3.3	△3.1	3.6	△3.4
⑨	ルールやマナーを守り、安全に気をつけて生活していると思われませんか。	3.4	3.4	3.8	△3.5
⑩	学校での活動の様子がお子様から家庭に伝わっていると思われませんか。	3.1	3.1	3.3	△3.1
⑪	学校は家庭に必要な情報をタイムリーに提供していると思いますか。	3.3	3.3	3.4	3.3
⑫	学校は保護者からの連絡・相談に対して、適切に対応していると思われませんか。	3.5	3.5	3.7	△3.5
⑬	学校や学級で楽しく過ごしていると思われませんか。	3.6	3.5	3.5	3.6
⑭	学校生活に悩みや不安はないと思われませんか。	3.2	3.1	2.9	3.0
⑮	自分のめあてや目標を達成するために、あきらめずに努力をしていると思われませんか。	3.1	3.1	3.1	3.0
⑯	学校は児童のよさを生かし、伸ばすことを意識して教育活動を行っていると思われませんか。	3.3	3.2	3.4	△3.2

<保護者及び教職員の自己評価から見られる課題と対応>

保護者の皆様からの評価も、全体として大きな変化はありません。△の付いた「⑧早寝、早起き、朝ごはん等、規則正しい生活ができていると思われませんか。」の項目については、児童アンケートの欄でも記載しましたように学校とご家庭の連携へのご協力をお願いいたします。

教職員アンケートは多くの項目で変動がありましたが、特に課題とされたのは「挨拶」です。もちろん毎朝気持ちのよい挨拶ができている児童はたくさんおります。一方、こちらから声をかけても下を向いたままという児童もおり、学校としては全員がしっかりと挨拶のできる子に育ててほしいという気持ちがあります。学校だけでなく地域の皆様も挨拶運動をしてくださるなど、すでに様々な取組はしておりますが、次年度はさらに重点的に取り組んでいきます。

保護者の皆様の評価が毎回低くなってしまいう「家庭で毎日、進んで勉強していますか。」の項目について、毎日提出された課題等に目を通す教職員としては、よい方向の変化を感じております。どうしても望む水準が高くなってしまいがちですが、たとえ小さなことでも、しっかりやり遂げたことを認めてもらえれば、それが次への意欲につながります。ご家庭でも、可能な範囲で声かけをしていただければ幸いです。

<保護者の皆様からのご意見・要望について>

ご意見・ご質問に関する回答です。全体に向けてお知らせすべき内容のものをまとめました。

- ・今年度は、主に中学年以上の児童についてギガタブ（学習用一人一台タブレット）の日常的な持ち帰りを始めました。ご家庭で使用する機会が多くなりましたので、ギガタブの扱いについてのご意見ご質問が寄せられております。

ギガタブの設定について

「保護者の操作で使用時間可能の設定などができるのか？」というご質問がありました。結論から申しますと、管理者である千葉市教育委員会以外は、設定の変更はできない仕様となっております。したがって、保護者のみならず、学校でも個別の設定変更はできません。全市共通で、「フィルター機能」「深夜の使用制限」等の設定がされております。使いすぎ等による児童の健康面を心配するお声があることは、使用状況に関する調査の際などに伝えてまいります。

連絡帳との併用について

「連絡帳がなくなり、ちょっとしたことでも電話が必要になり困っている。」というお声がありました。主に高学年において、児童が翌日の予定を連絡帳ではなく、ギガタブを使って確認するようになったことに対してだと思われます。これについては、学校・学級からの説明が不十分であったり、保護者の皆様の中でも認識のずれがあったりしていると思われますので、今一度説明させていただきます。

まず、連絡帳はなくなっておらず、これまでと同じようにご家庭からの連絡、学校から個別のご連絡に使用しております。これまで連絡帳は「学校と家庭の個別の情報交換」「児童が翌日の予定や手紙の枚数等を書いてご家庭に知らせる（自分も翌日の準備に使う）ノート」という二つの役割を果たしておりました。このうち「翌日の予定や手紙の枚数」という部分がギガタブに移行され、連絡帳は純粋な「学校と家庭の連絡手段」になったとお考えください。これまで通り、担任等への連絡にお使いいただいて構いません。健康面に関するご連絡でしたら、「すぐー」で欠席・遅刻等を入力する際に、コメント欄に書き込むこともできます。そちらも併せてご活用ください。

また、「保護者もギガタブに書き込めばよいのでは？」というご意見もいただきましたが、ギガタブ使用上の契約において、保護者単独の使用は禁止されております。予定の確認等も「児童と保護者が一緒に見る」前提で実施しております。以上の点から、保護者の皆様がギガタブで書き込みをすることはルール上できないことをご承知おきください。

使い方の指導について

「ギガタブの使い方について、指導の機会を増やしてほしい」というご要望がありました。また、ギガタブのみでなく、SNSの使い方に関する指導を望まれる声もあります。

これらに関しては各学級のみならず、外部機関に依頼しての出張講座も毎年開催しております。アンケートのお声には「親が子供時代にSNSを経験していないので、各家庭での扱い、教え方に差があるのでは」というご意見もありました。保護者参観が可能な講座もあり、その場合はご案内をしますので、ぜひ保護者の皆様もご参加ください。

また、現在は非常に多くの「安全なSNS利用」に関する資料が提供されております。学校から配布されるものも多数ございますので、そちらも併せてご活用ください。

- ・年間行事予定に記載される内容について、今一度確認をさせていただきます。本校では例年3月に次年度の年間行事予定を配布しております。これは「仕事のスケジュール調整などのために少しでも早く予定を知りたい」というご要望にお応えするため、その時点では不確定なものが多数ある中で配布をしております。

「年間行事予定はあくまでも前年度3月時点での予定であり、実際に行事等の詳細が決まるのは早くても実施の1～2か月前」ということをご理解いただき、「学校だより」や「学年だより」に記載されるのが最新の情報であるという認識でいただければと思います。

- ・「懇談会はオンラインでできないのか」、というご意見がありました。実際、コロナ禍では多くの学校がオンラインでの懇談会を実施しましたが、現在はほぼすべての学校においてご来校いただく形式に戻っております。

配信の権限等に関する問題もありますが、大きな理由として、コロナ禍を経て、担任と保護者の皆様が実際に顔を合わせて懇談会を実施することの大切さが再認識された、という点があります。

単に担任からの情報提供をするだけであれば書面開催で済んでしまいますが、「子どもたちのよりよい成長を願って、それに関わる大人が実際に会い、オンラインでは遠慮してしまいそうな気軽なやり取りができる場」であるために、今後もご来校いただいた際の懇談の機会を重視していきます。ご理解、ご協力をお願いします。

- ・寄せられたご意見、ご質問の中には、以前に回答済みのものもありました。それらにつきましては「令和6年10月24日配信のすぐー」にてご確認ください。

その他の内容につきましても、今後の学校運営に活かしてまいります。貴重なご意見、ありがとうございました。